

ともはは6

不倫夫婦

五味祥子

四十歳



基本CG45枚

セックスレスの
夫に不倫された妻





基本CG 45枚



「これは何故勝則さんとは
不倫を疑わ
様子やその口癖も結構の
むかし、昔の
後育後も支がういゝまま
添削しますかね？」
「は…は？」



「ああ、勝則さんか久し振だね、
みてよこの子今の旦那さんよ、
あなたと違って私を大事にしてくれるわ、
セックスも面白くなるよ、」
「チンポのサイズもチンポの長さも、
あなたとは段違い、
どうか私たちのために
これからもお仕事頑張って
養育費送込んで頂戴ね、」
「下着」

今日の昼
旦那の浮気現場に遭遇した



五味祥子(ごみしよぶこ) 40歳

ここ数年夫と馬鋏うことはななかったので
薄々そうなのではと思っていたけど
いざその現場を見てしまうと精神的ショックが大きい

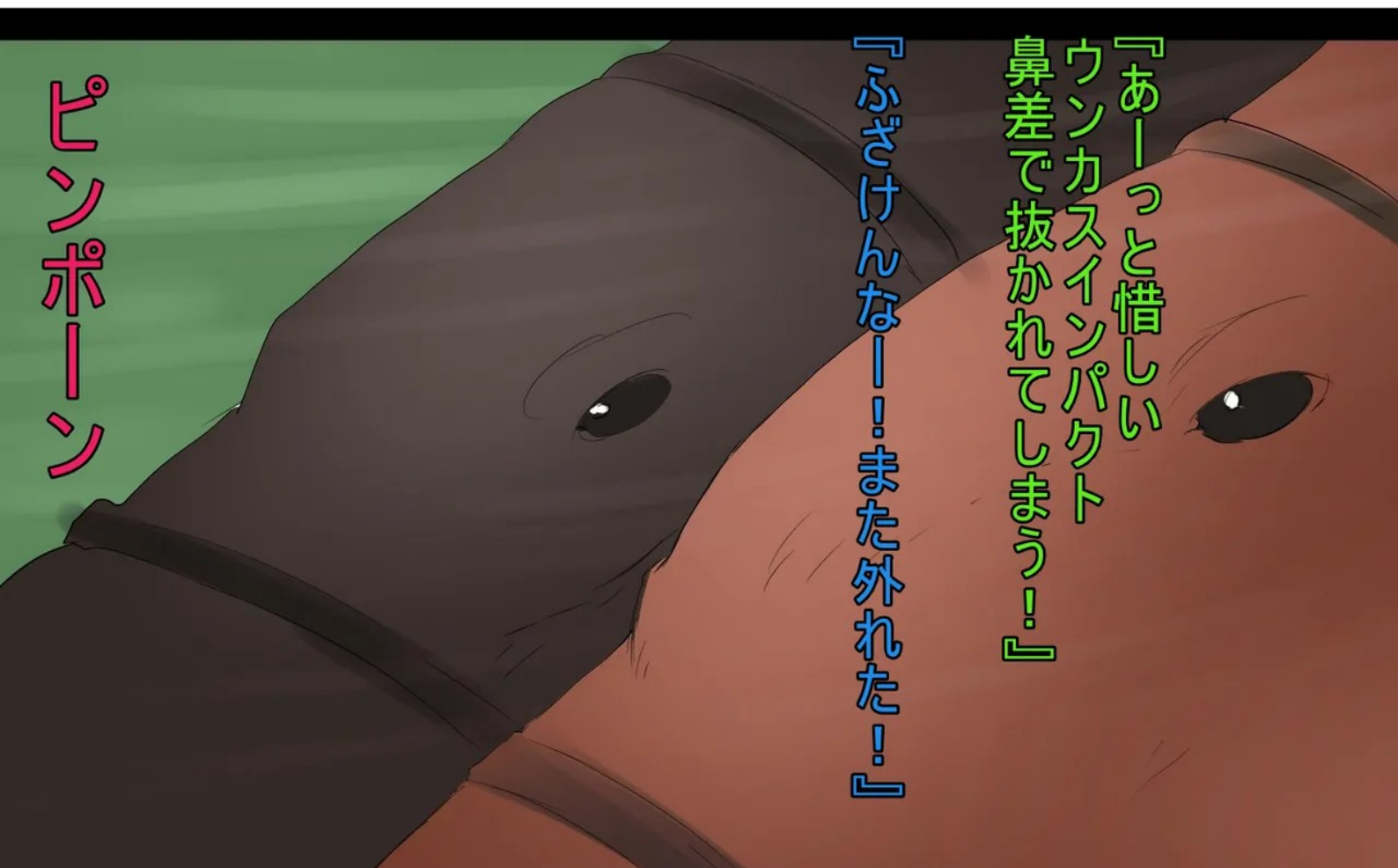
私ではおちんちんが勃起することはないのに
あの若い女のこととは毎日セックスしまくっているのだろうか……
とにかくショックだった　すべてがどうでもよくなるくらいに





さあー来るかウンカスインパクトー！

『よし……いっしょいっしょ！』



『あーっと惜しい
ウンカスインパクト
鼻差で抜かれてしまうー！』

『ふざけんなー！また外れた！』

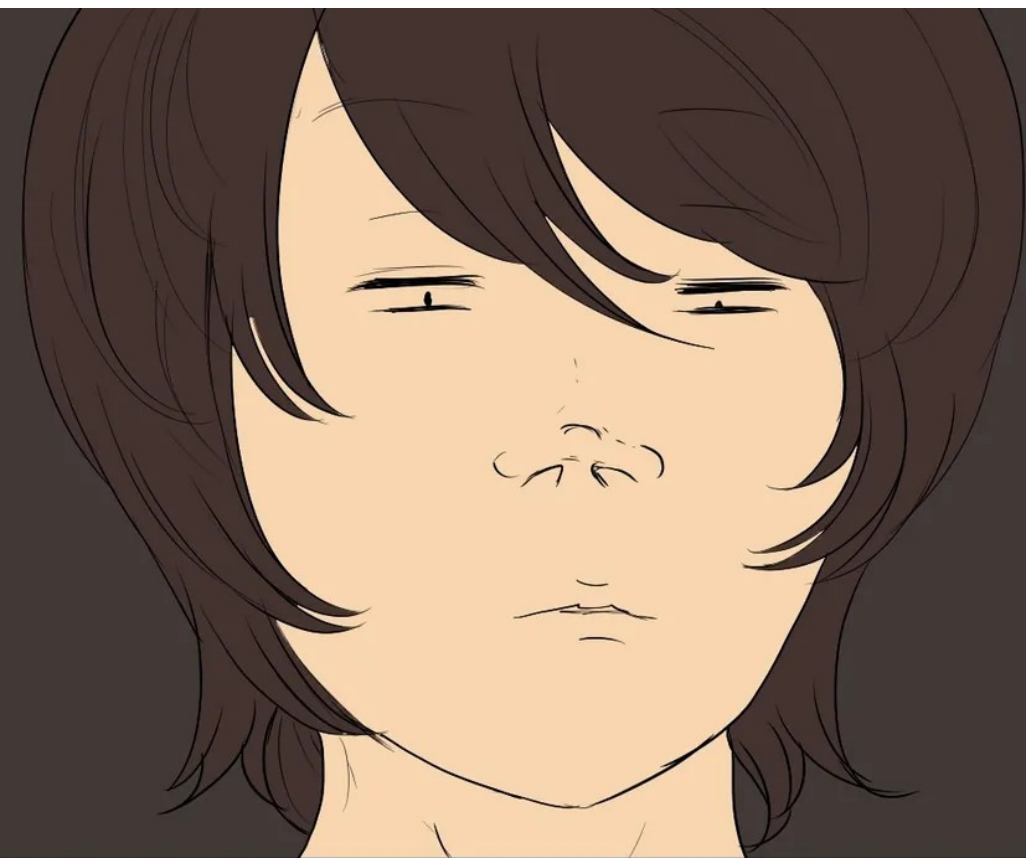
ピンポーン

「ん？この人は確か俺が家庭教師した五味君のママ
「ど、どうしました？」」

ガ
ァ



「実は……相談があつて
少し
お邪魔してもいいかしら……」



ポウ

んほ
おっぱいでけ
「どうぞどうぞ！俺でよかったら
何でも言ってください(笑)」

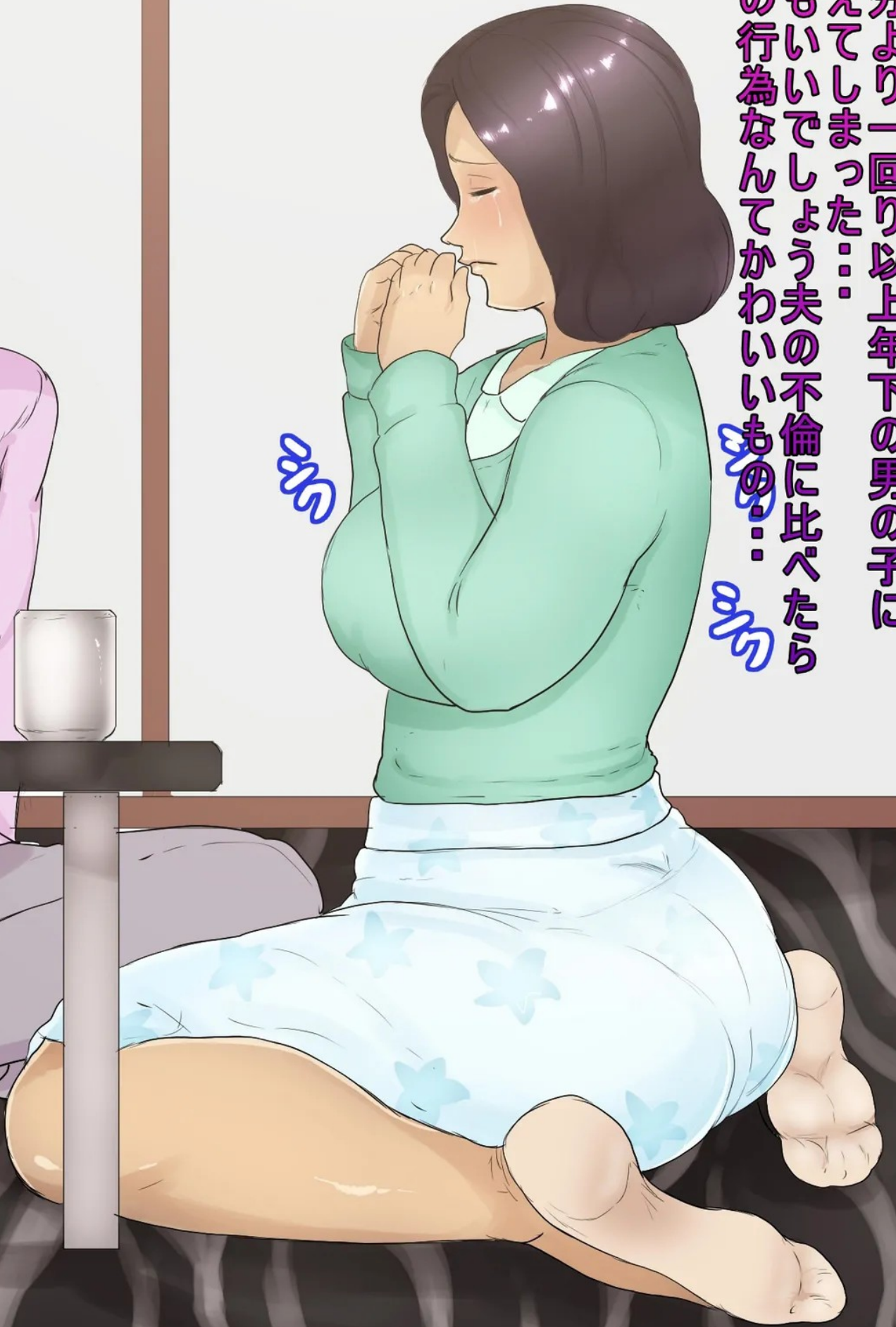
モウ



自分より一回り以上年下の男の子に
甘えてしまった……
でもいいでしょう夫の不倫に比べたら
私の行為なんてかわいいもの……

あふ

あふ
あふ





Kinn

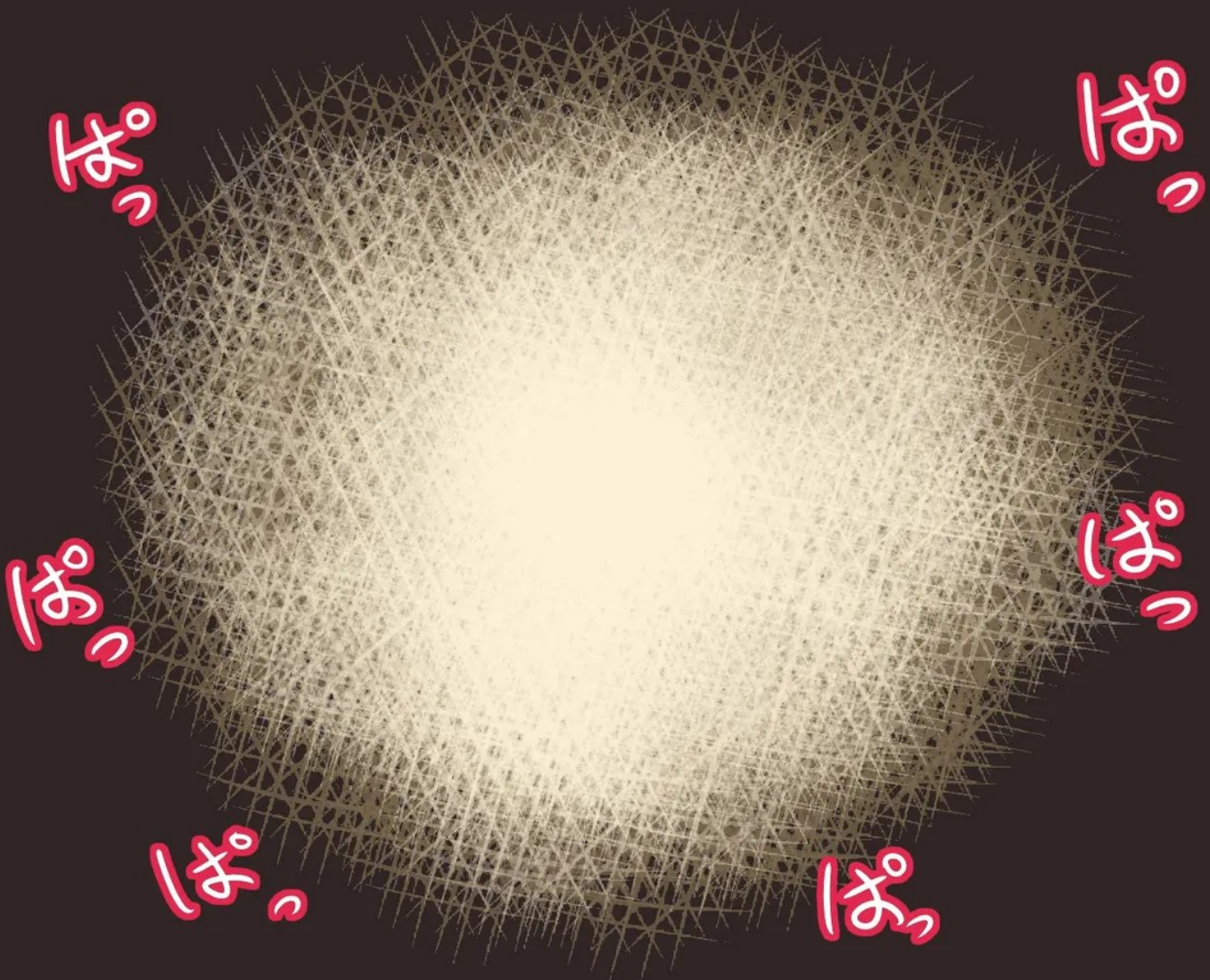
なんだかいつもより酔いが早いわ
久々に飲んだからかしら
『あすか君…私そろそろ帰るわね』

『何言ってるんすから
まだまだこれからでしょう
今日はクソ旦那のことを忘れて楽しませよう！』



そうよね
こんな若い男の子と
飲む機会なんて
もうないだろうし

あの人のことは忘れて
目いっぱい楽しむわ…



「何ってセックスだよ！様子さんが誘ってきたんだろ！肩旦那なんか忘れて俺で感じちやえよ！」

「っえ！ちよちよ何してるのよー！あ♡あん♡はあはあ♡」



私なんてことを……いけないわこんなこと……
夫も子供もいる身なのにこんなふうしだらな……
でも……気持ちいい……やめたくない……
『だめえ……♡抜いて……♡』

はぁ

『何言ってるの!!』

見返してやろうよ

祥子さんは悪くない

無反応な旦那が悪いのさ!

こうなったのは全部旦那さんのせいだよ!』

そんな

こんなおばさんにそんなこと言ってくれるなんて……

はぁ
はぁ
はぁ

『だってこんなに激しいの…
久しぶりだからあ』

ハア

おっ

おっ
おっ

おっ

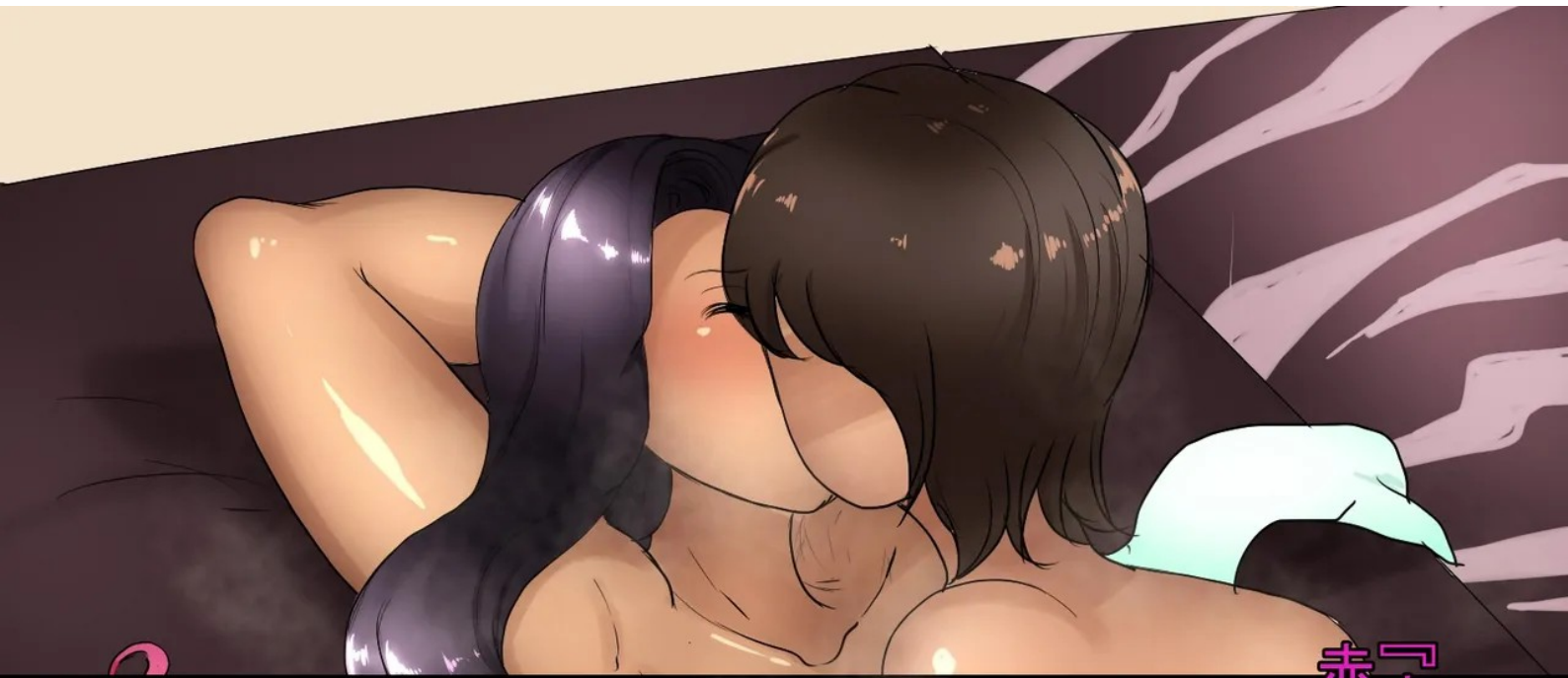
『おれだったたら毎日
これ以上に気持ちよくしてあげよう』

♡♡

この快樂のとりこになっちゃった
こんなに求められるのは何年振り……
たまらないわ♥
気持ちよさに脳が没頭する

『様子さんイクぞ♥』

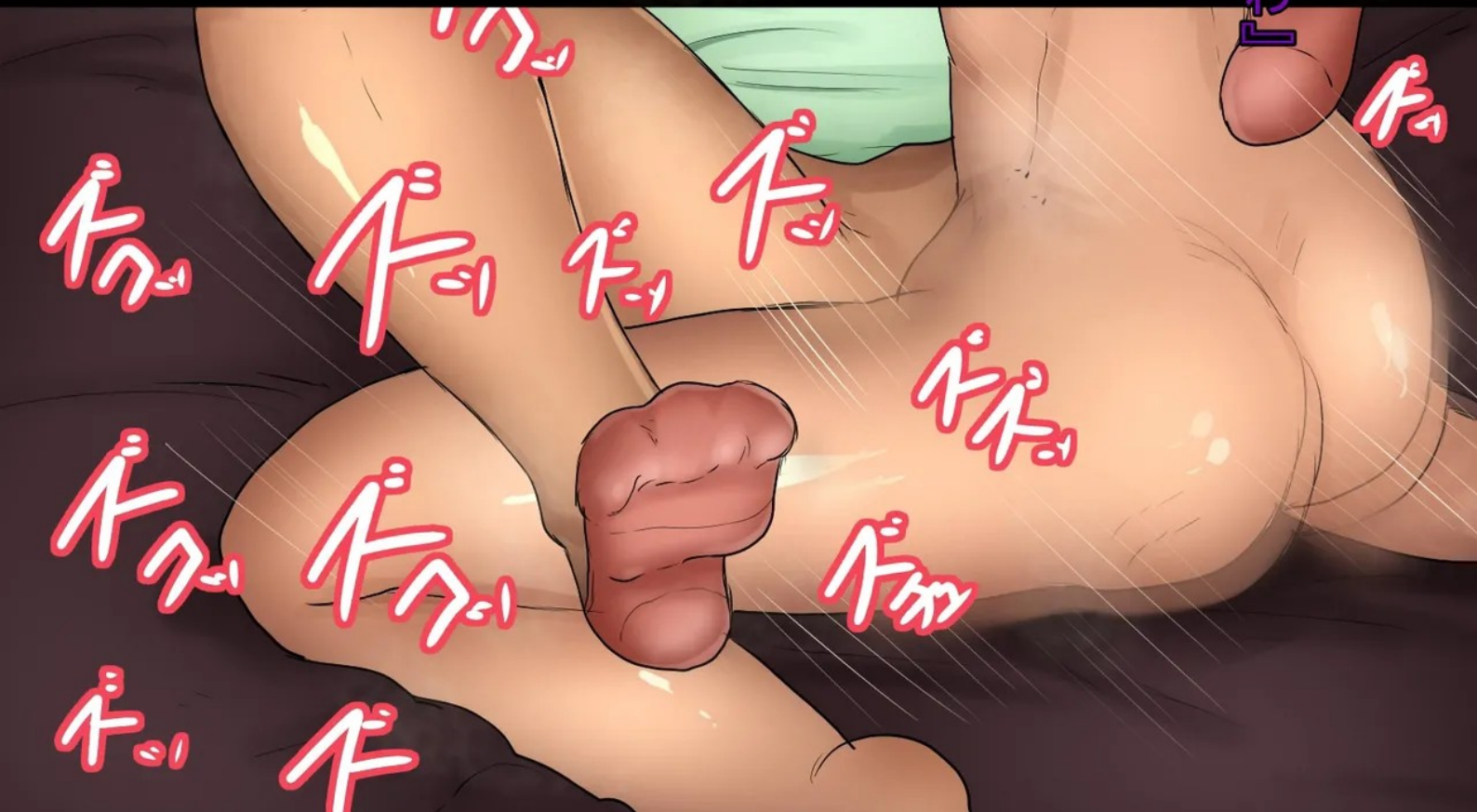




「中はだめよ
赤ちゃんできちやうわ」



「わかったよ
あーイクイク♡」



『さあさあおっぴんす〜』



はぁ

はぁ

っし

っし

っし

っし

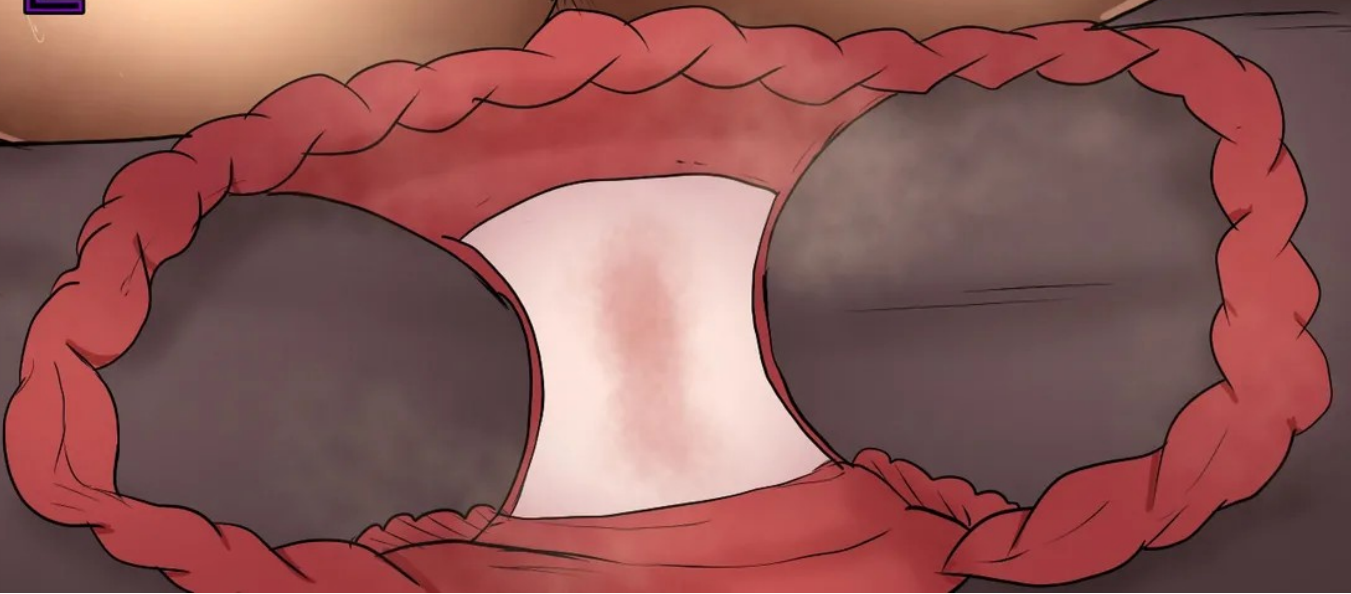
『ぶっかけるぜえ♡』

びしょ

びしょ

びしょ

『おっ♡おっ♡』



もちろんわたしとあすか君の関係が
一回きりで終わることではなく
「ちよっとパート先まで来ないでよ……」

「いいじゃん
祥子に会いたくなっただよ♡
すぐ終わらせるからおっぱい出せよ♡」

「もう……すげべ♡」



「やだ……こんなところ破いて
バレたらどうするのよ」

「だいいじよふだよ
下手に股開きすぎなきゃバレねーって♡」





「すこい量
美味しい♡」

わ

わ

びゅ
びゅ

「じゃあ全部飲めよ♡
お前のために一週間貯めたんだからな」

不倫を繰り返す夫の隙を見ては
私たちも密会を繰り返した

「やだぁ♡そんなにじっくり見ないでよ」

「祥子のマンコくっせー(笑)
でも「言いつけ通りちゃんと
風呂は入らなかつたんだな」

「そうよ
そのせいでパート先の人にも
ママ友にも変な目で見られたんだから♡」

「じゃあ「褒美に」いっぱい気持ちよくしてやるよー!」

「祥子のマンコに
主人様の肉棒入れてほしいにゃん♡」

「すげー格好だな(笑)
写メとるわ
会えない時はこの画像で抜くからな♡」



完全にこの子の女になってしまいました♡♡♡




『ねえ……家出するのはまずいわよ』

『大丈夫だよ
今日は旦那いないんだろ?』

『でも……息子も寝てるし音でばれたらまずいわよ』

『ビビんなよ(笑)ふーんこれが二人の愛の巣ってわけね
まあ雄鶏は別の鳥の床に行っちゃまってるわけだが(笑)』





「これこれ♡このマンコだよ！
祥子だってほしかったんだろ？
俺のチンポ」

「当たり前じゃない♡あすか君のちんぽだったら
いつでもほしいわよ♡」

「な……にそれ？」

「クリ吸引機
—これ世界変わるぜ」

「やだ……怖いわよ……」



「大丈夫だって
俺が祥子に痛いことするわけねーじゃん
どんなこともやってみなきゃわかんないだろ？
俺との関係だっていけないと思っても
いざやってみたら最高に気持ちいいだろ？」

「そ……そうねわかったわ
あすか君に任せるね♡」

クリに吸い口が…あっ♡気持ちいいかも
徐々に吸引が強まって…
気持ちいい♡

『いいだろ?』

『うん…気持ちいいわ♡』

『本当に気持ちいいのは
—っからだぜ♡』





「強めていくぜー」

ズルズルズルズルズルズル

ズル

ズル

「ほおおおおおおおお」





「最大吸引じゃい！」

ビュッ!!

ビュッ

ビュッ

「オオオ♥だめ
外してええ〜！」

「これ…やば♡クリが勃起した
おちんちんみたいになっちゃってる♡」

「めっちゃくちや気持ちいだろ？
てか何で今の旦那の指輪なんかかしてるんだよ！
こんなもん今は必要なんだろ♡」

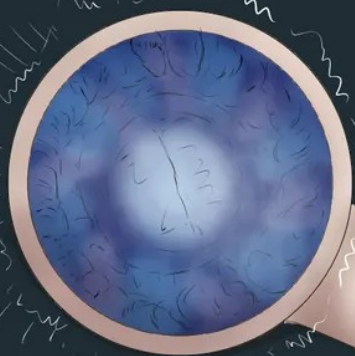


『ちよ……それまさか
クリにあてたりしないわよね』

『よくわかってんじゃん
絶対気持ちいいって！』
♡

ぷくぷくぷくぷく

『やだやだ！絶対だめよそんなこと
おかしくなっちゃうから……』





脳天を突き抜けるような衝撃だった
大人の女らしく取り繕うこともできず
ただただ快樂に身をゆだねる
メスにしかかなれなかった



「祥子のアナル処女いっただき〜♡」

「おねがい♡早く頂戴♡
あすかのチンポ欲しくて仕方ないの♡」



「あッ♡すごい
気持ちいいのが入ってくりゅ♡」

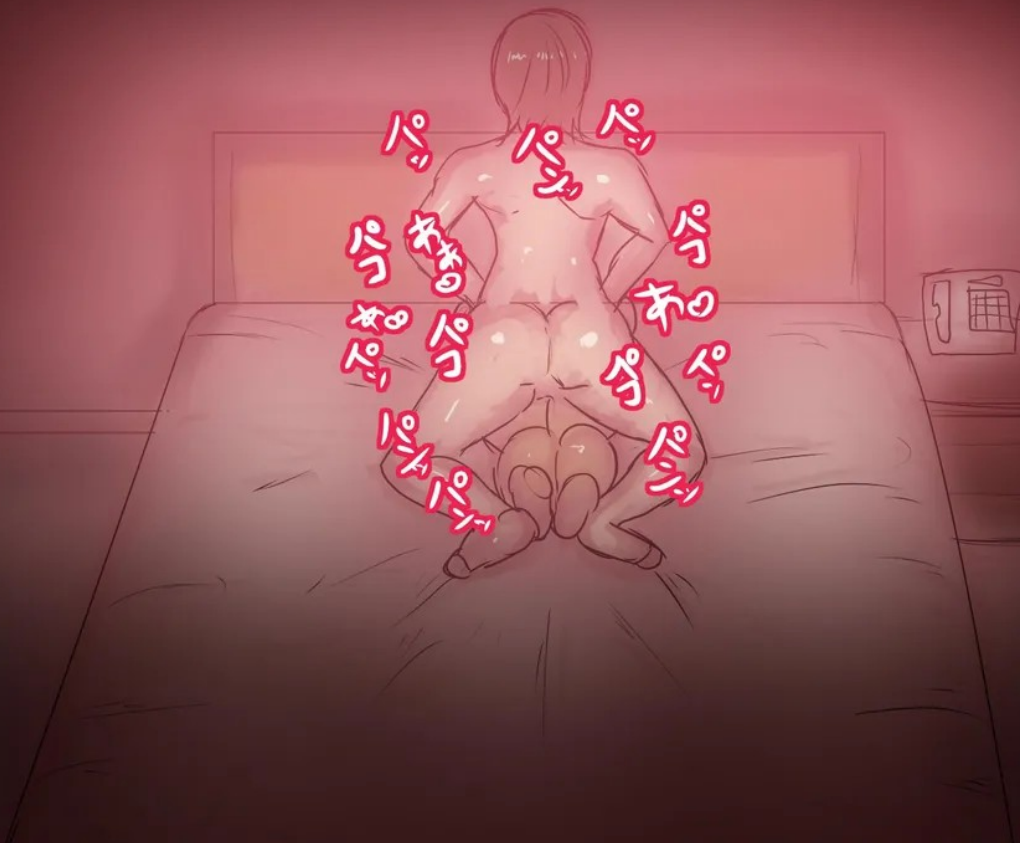


「このアナルたまんねえ♡」

「おほ♡オン♡おん♡
気持ちいいわ!
もつとめちやくちやに突いてえ♡」

『今日はいつもよりプランク長かったからな
死ぬほど突いてやるよ♥』

『いいわあ♥死ぬほどついてちようだあ〜い♥』



「なあ様子

今日こそ中に出すぞ♡いいだろ♡」

あゝのぱっ
ぱ

あゝ♡

ぱっ

ぱっ

「いいわよ♡いっぱい出してちょうだい!」

「あーっあーっ」

「えっ……なんで抜いて……」

チッポ



「はっ…♡ああん♡
オマンコの中はだめって言ったのに〜」

「でもいいだろ？愛の証だろっが♡これが♡」



トプ
ププ
トフ

「そうよないわ
私のオマン」はあすか君専用マン」だものね♡」

「最高だったぜ祥子のマン」♡中っ♡」





『では五味勝則さんは
不倫を認め
祥子さんに家も親権も
わたし 毎月の
養育費も支払うことを
承諾しますね?』

『は…はい』



離婚だなんて聞いてねーぞ…

グググ

くそ…
おれに意見をしない
おとなしい女だったのに
何があったんだよ…

数年後

あなたの忘れ物があるから
来て頂戴
ドアは開いてるから

はあ
忘れ物ってなんだよ
今更会いたくねーな
養育費のため
毎月かつかつだつてのに

フ...

「お……おい……
様子……お前何してんだよ……」

「あっ♡いいわぁ
あすか君もっともっと突いてえ〜♡」

「様子来たぞ！元・旦那が♡」

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ



『ああ♡勝則さん久しぶりね！
みてえこの子今の旦那さんよ♡
あなたと違って私を大事にしてくれるの♡
セックスも毎日してるのよ♡』

『チンポのサイズもテクニクも
あなたとは段違い♡♡♡
どうか私たちのために
これからもお仕事頑張って
養育費振り込んで頂戴ね♪』









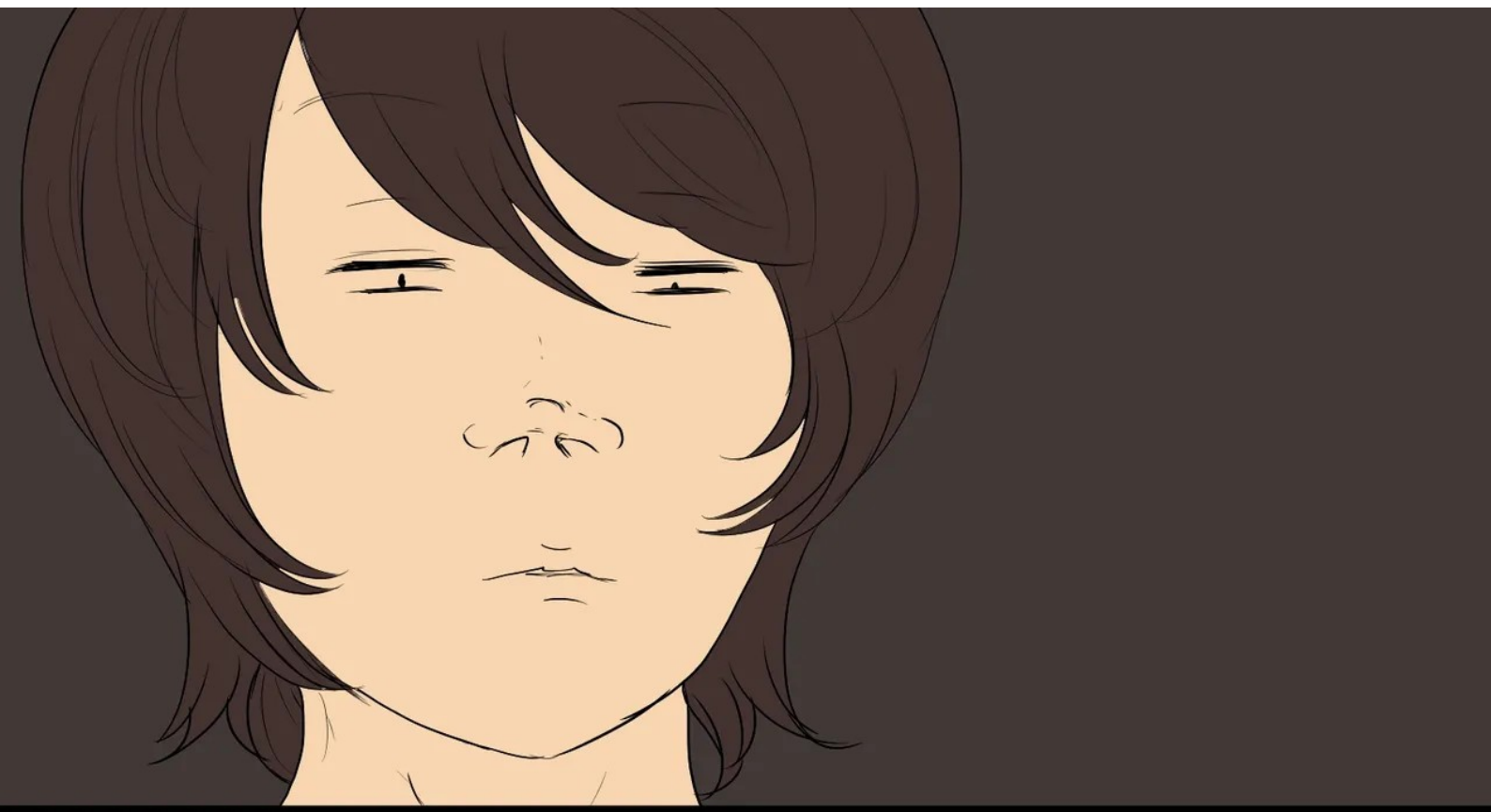




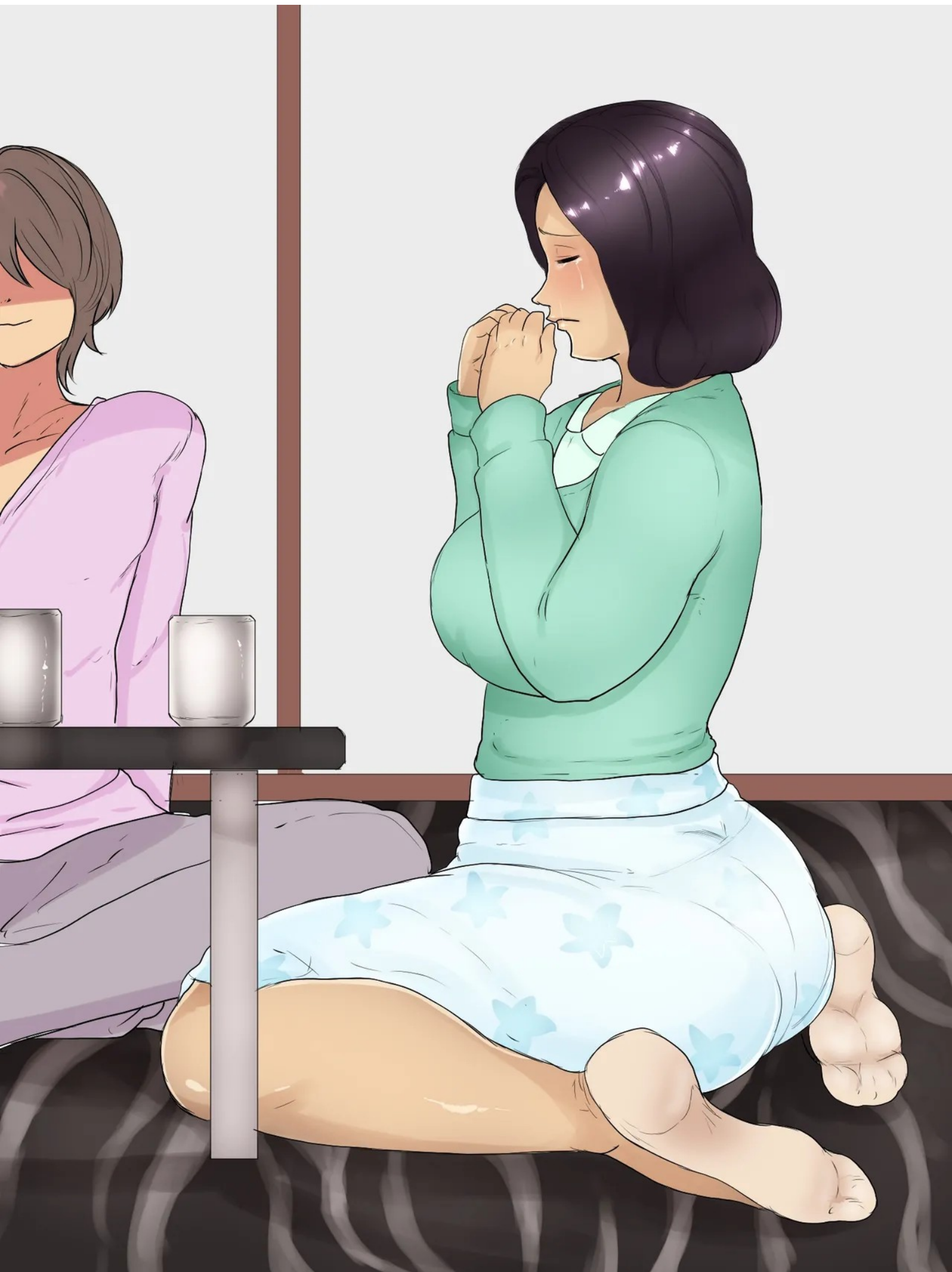


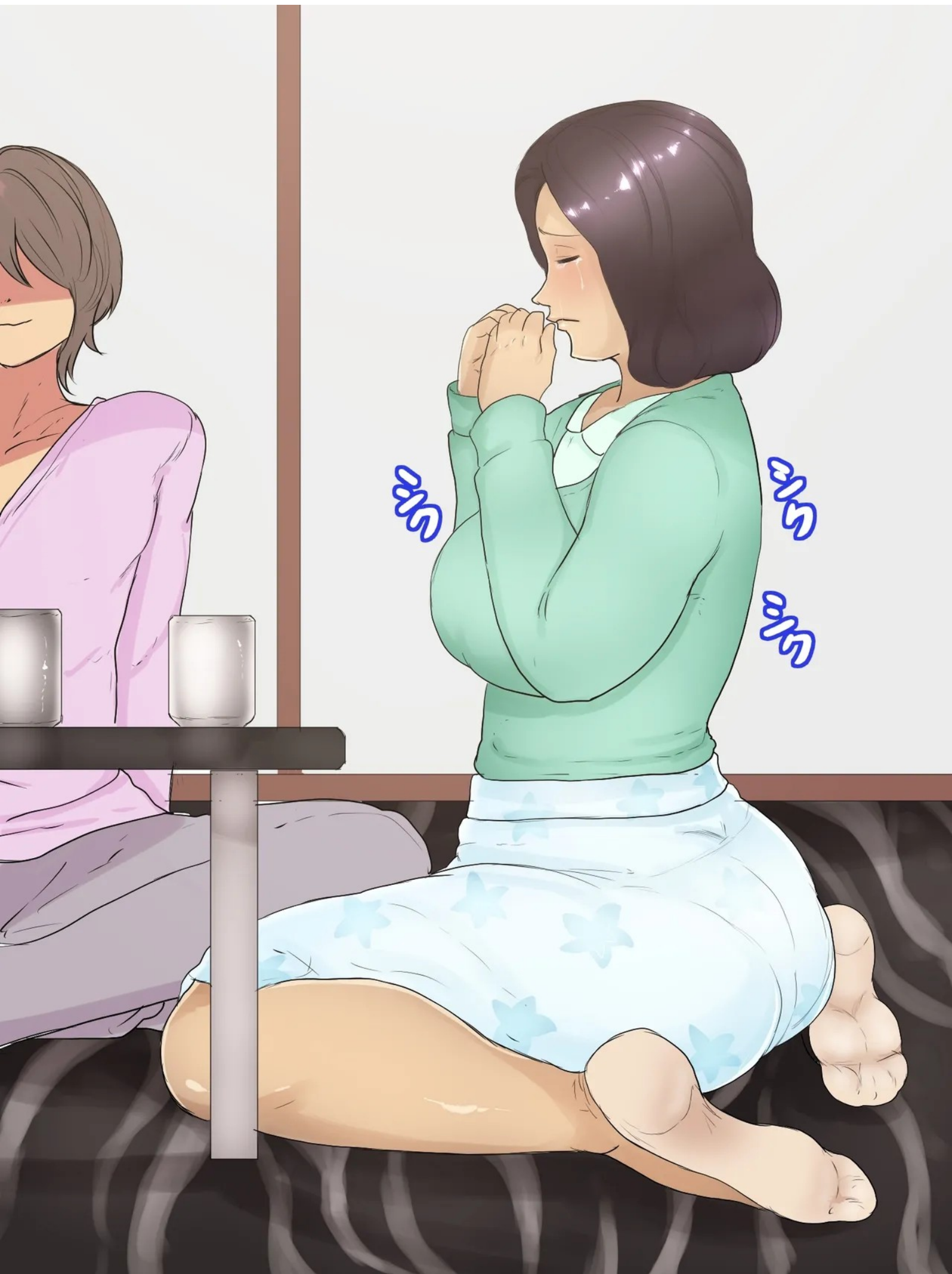
ガ
カ











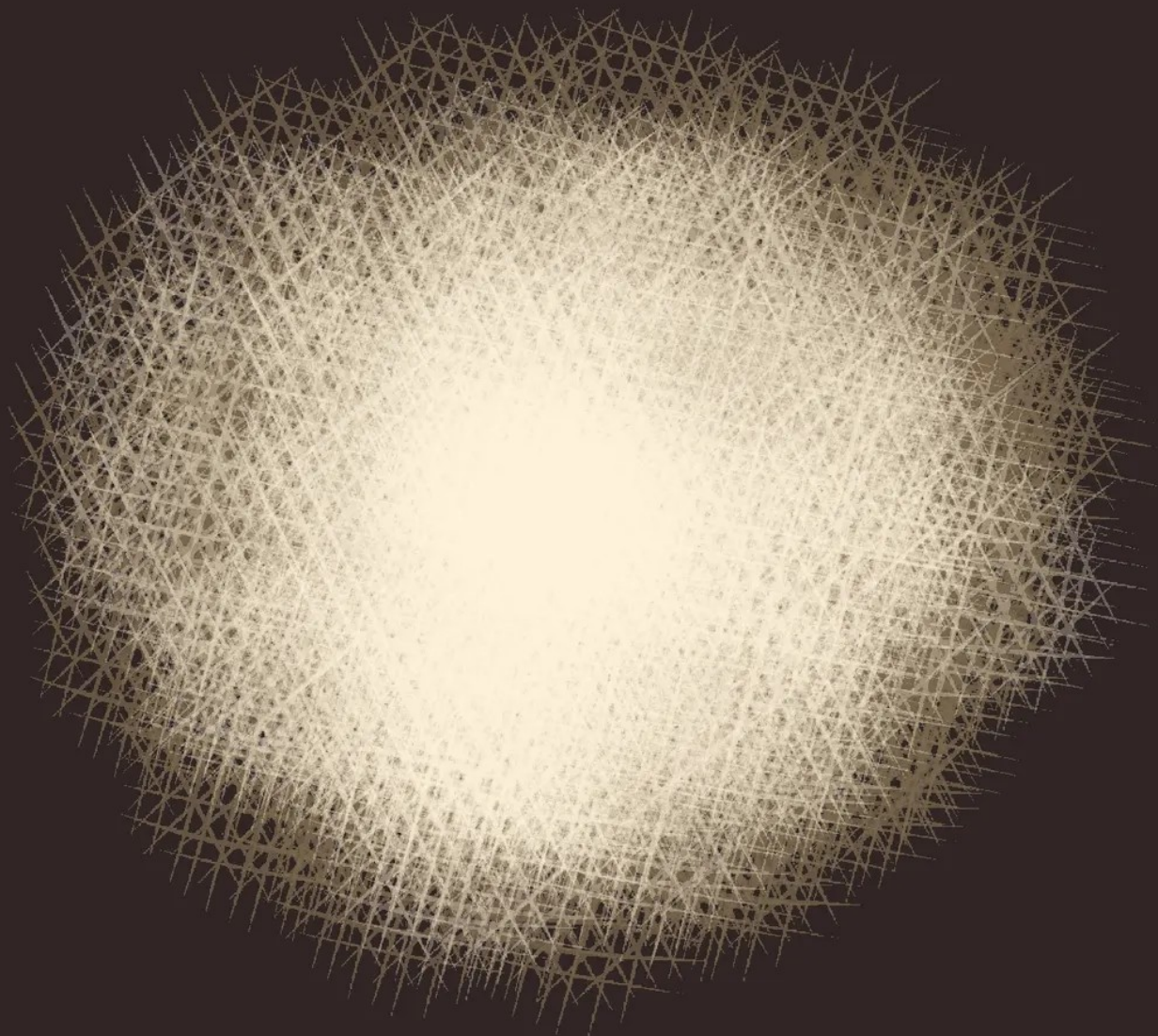


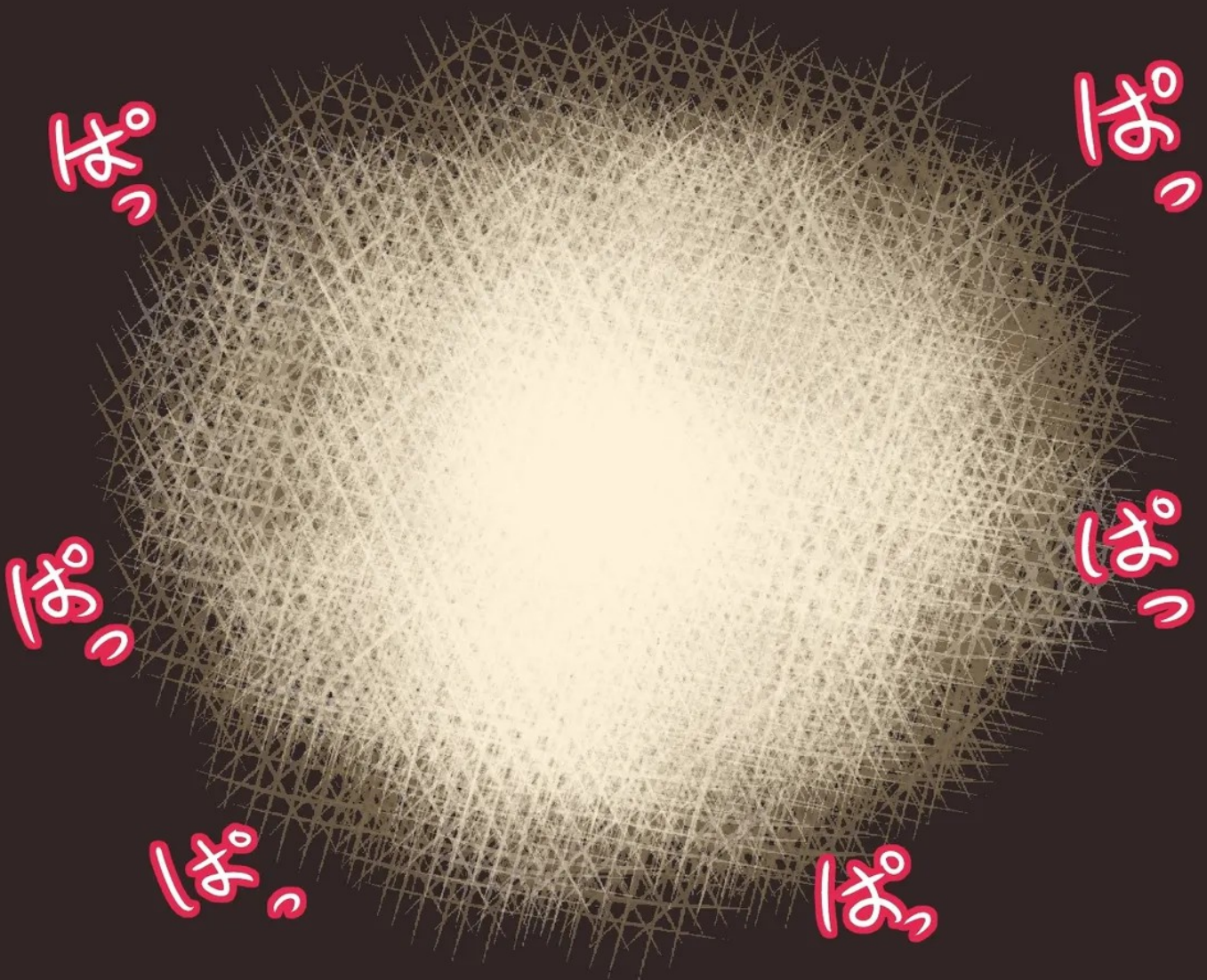


Kinn













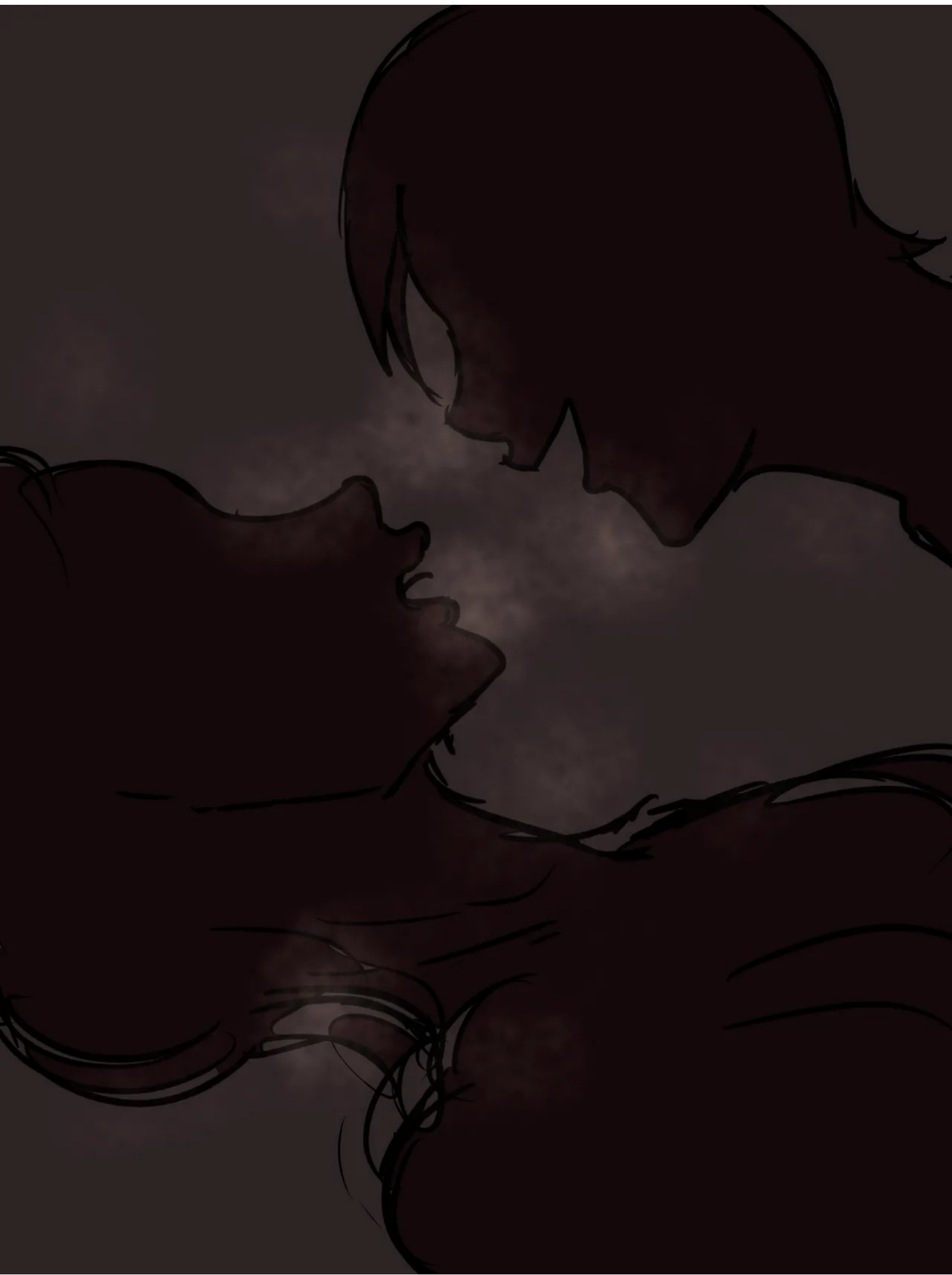






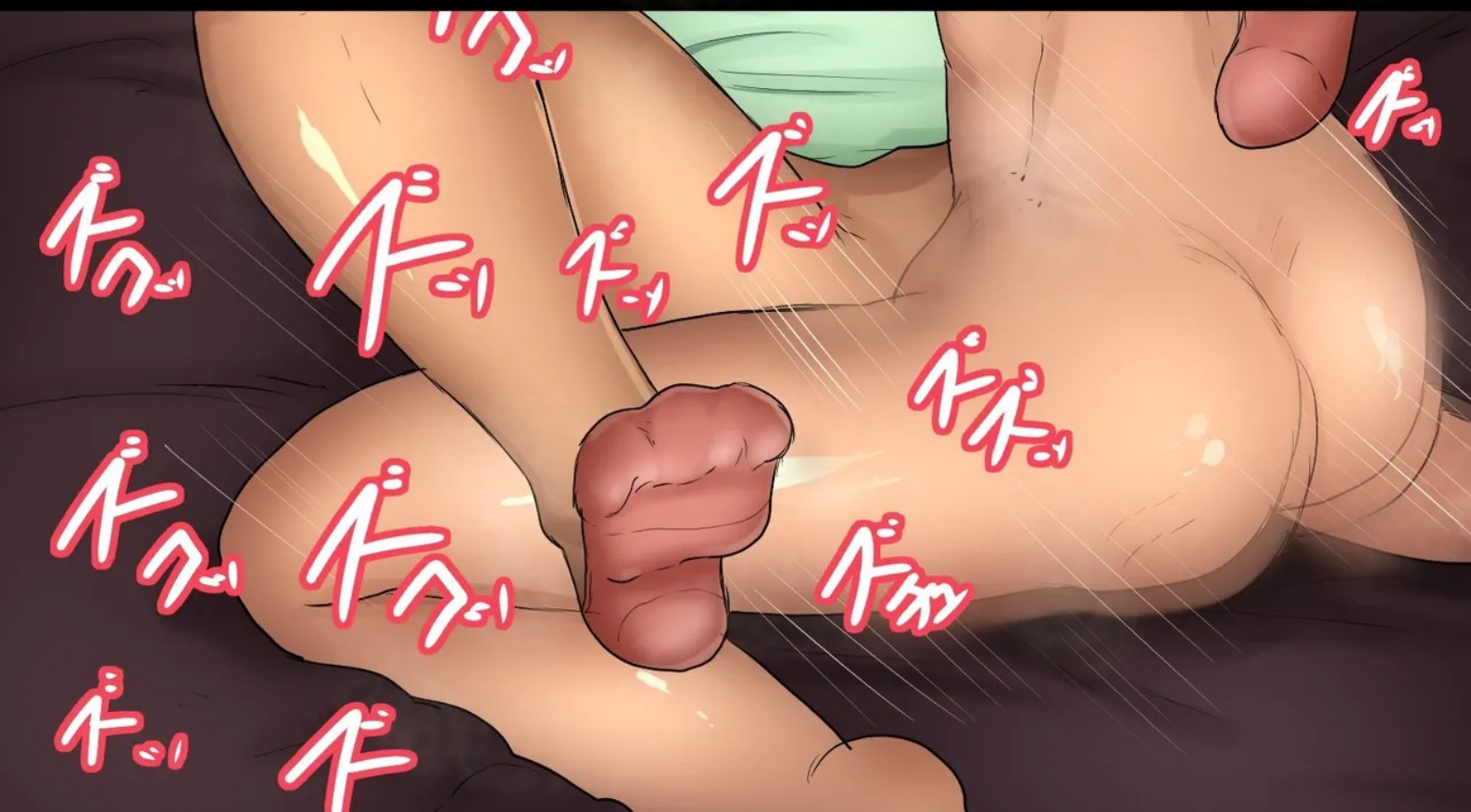
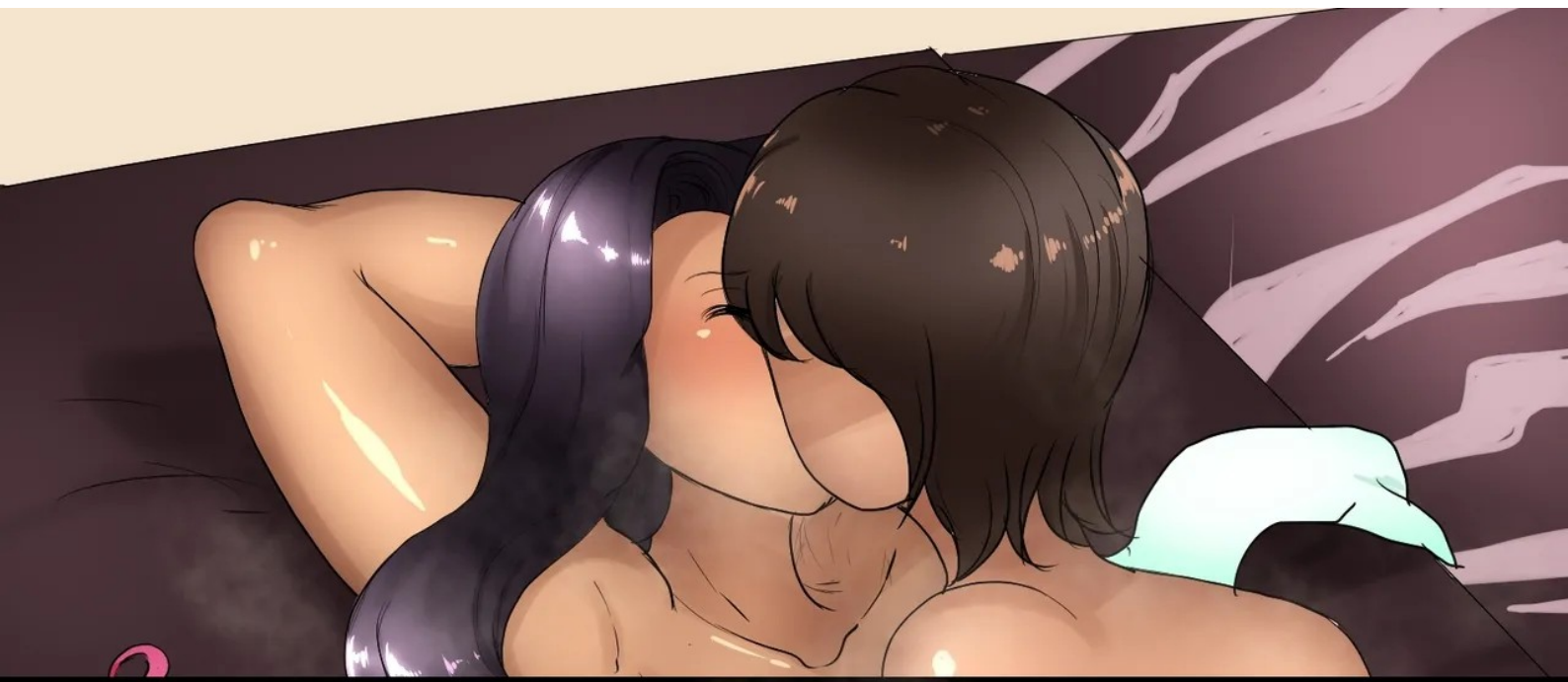




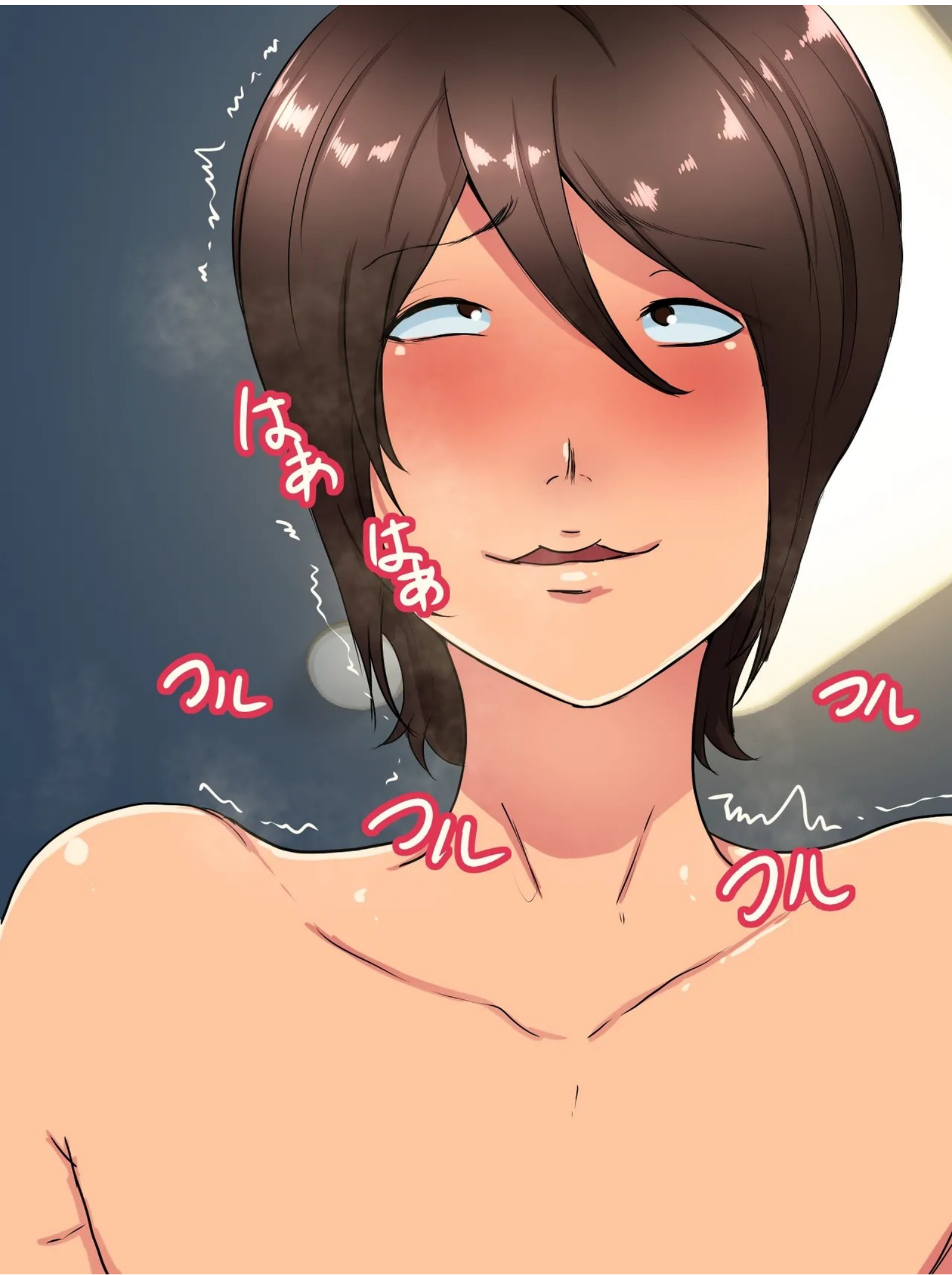












はぁ

はぁ

はぁ

っ

っ

っ

っ









أهنا

أهنا

أهنا



















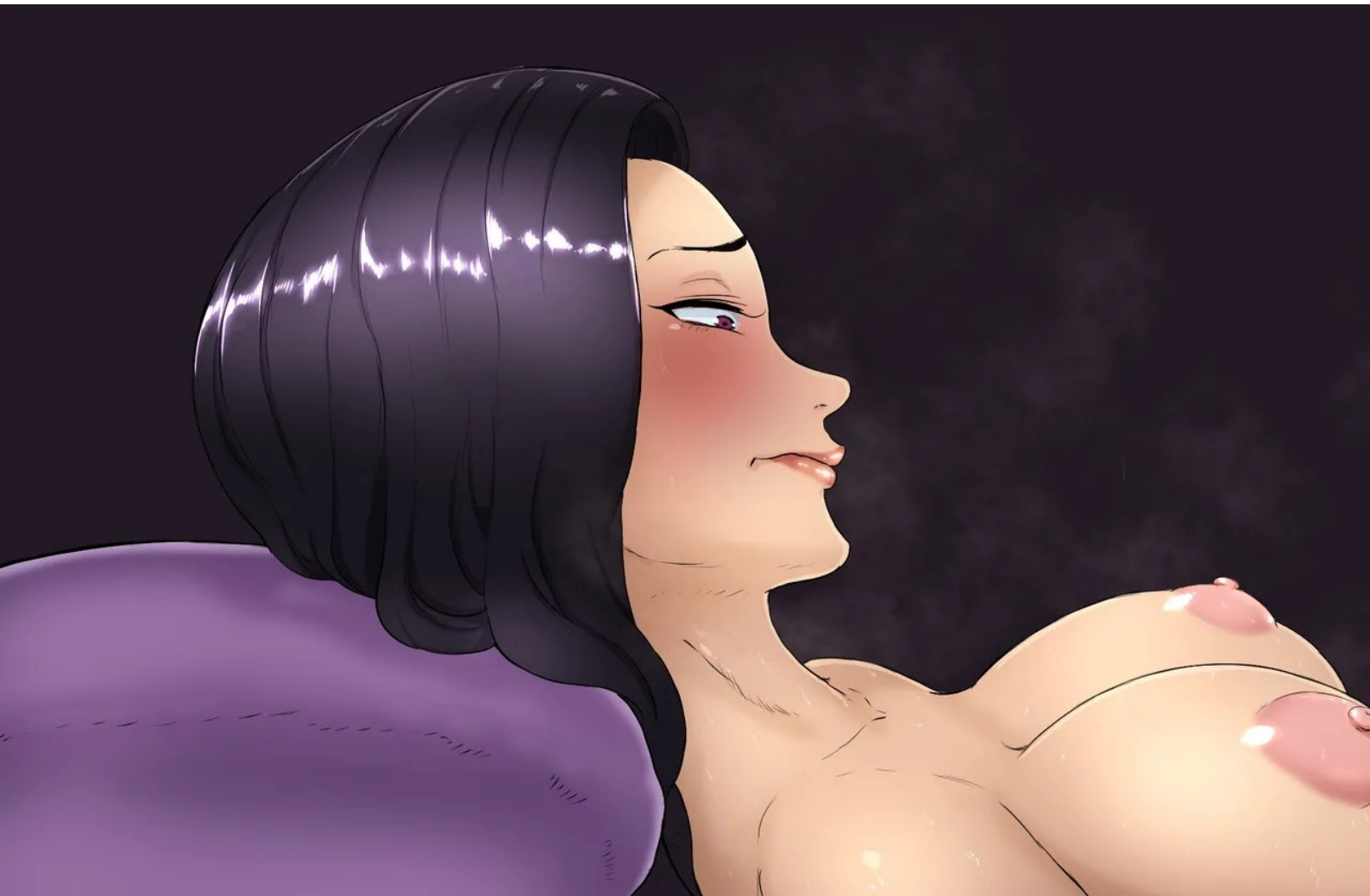


















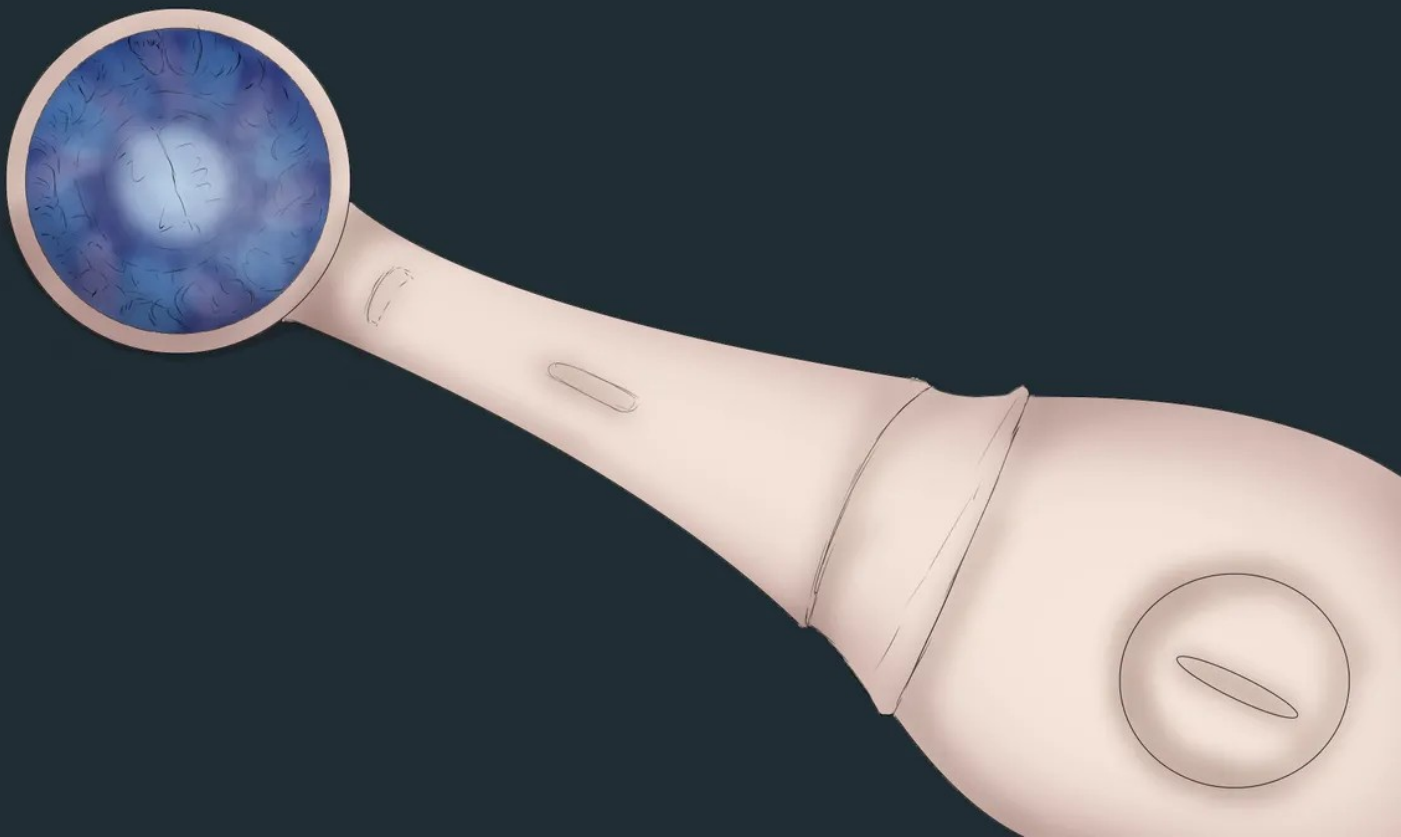




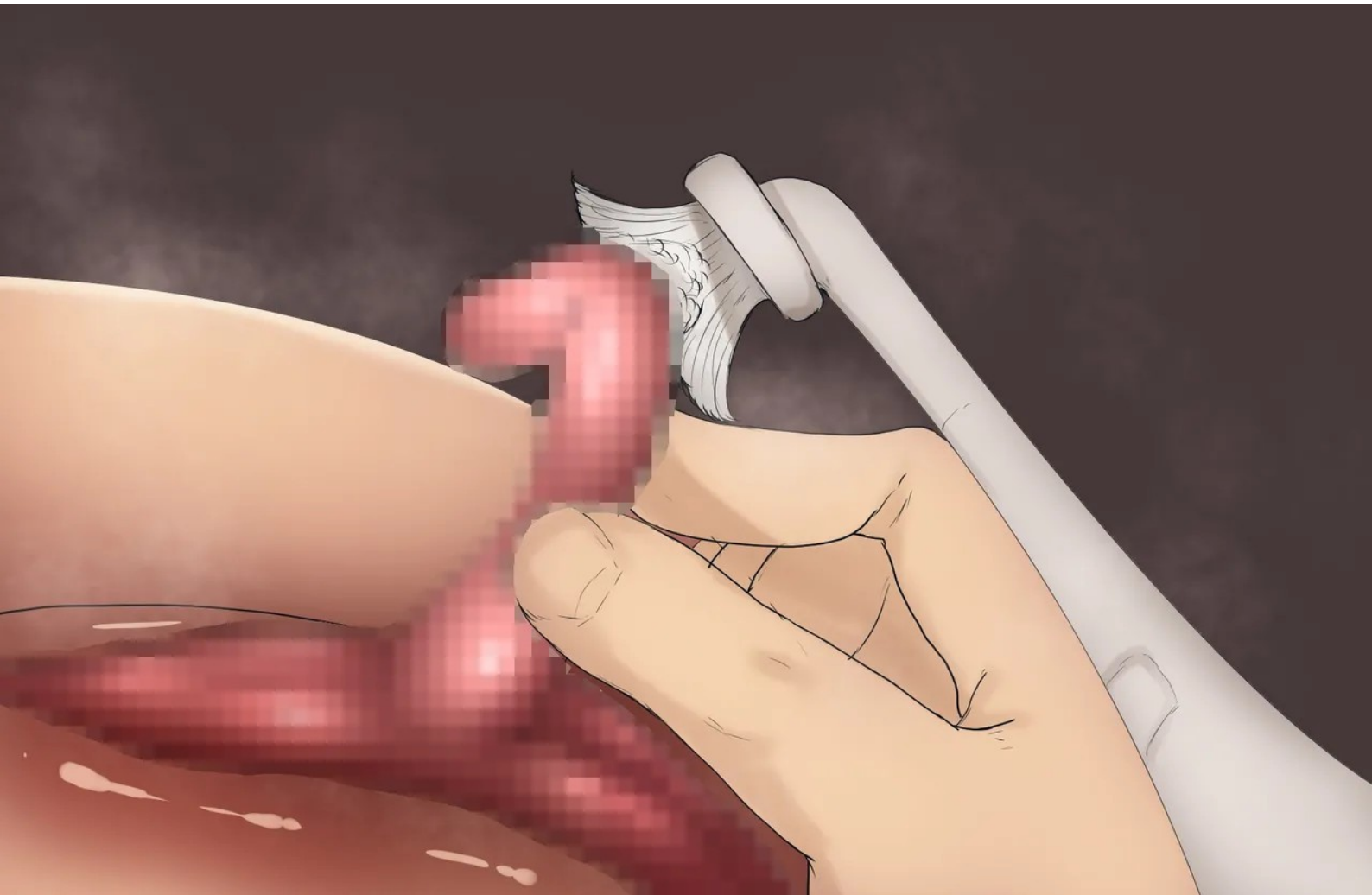


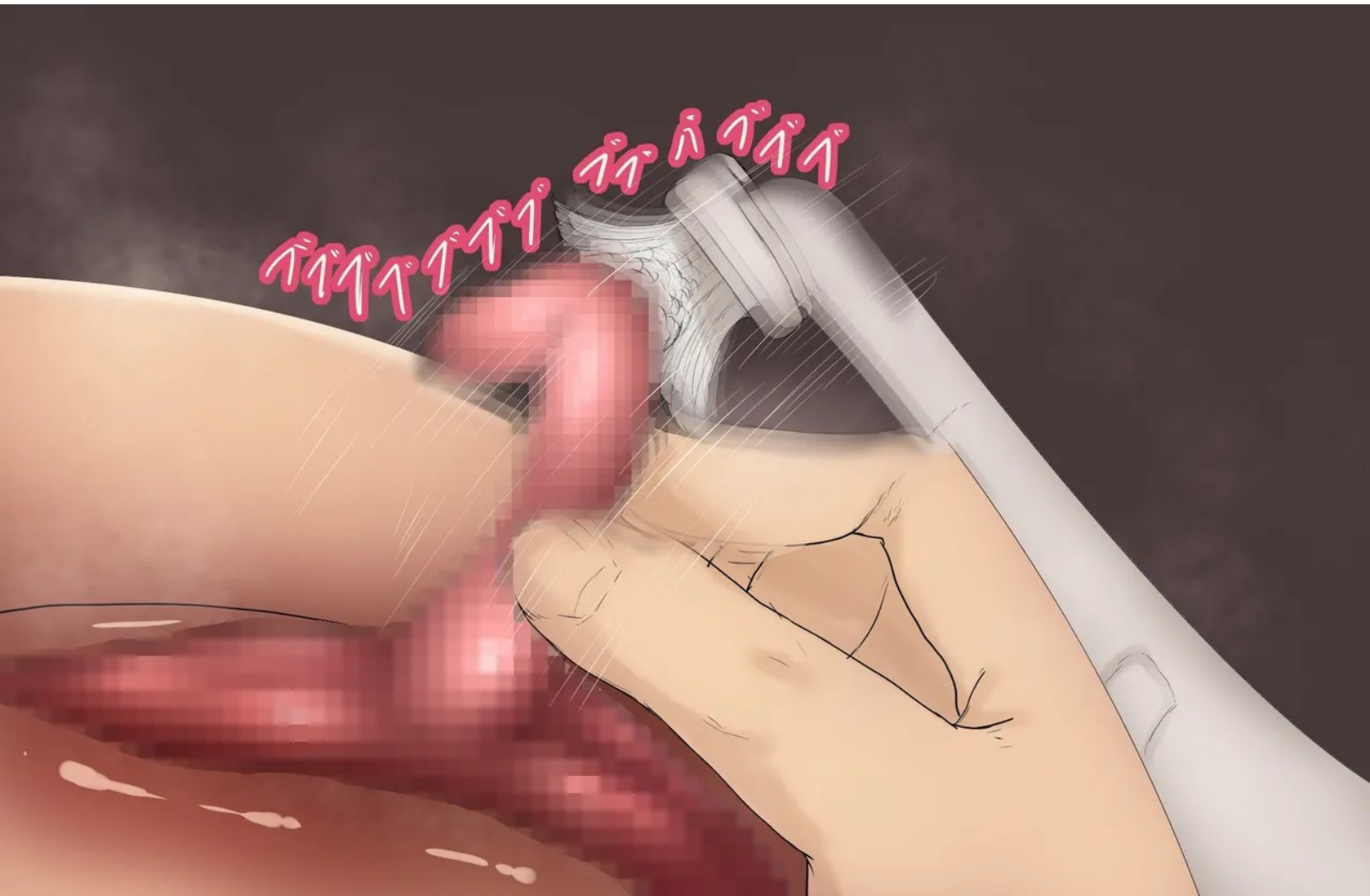
















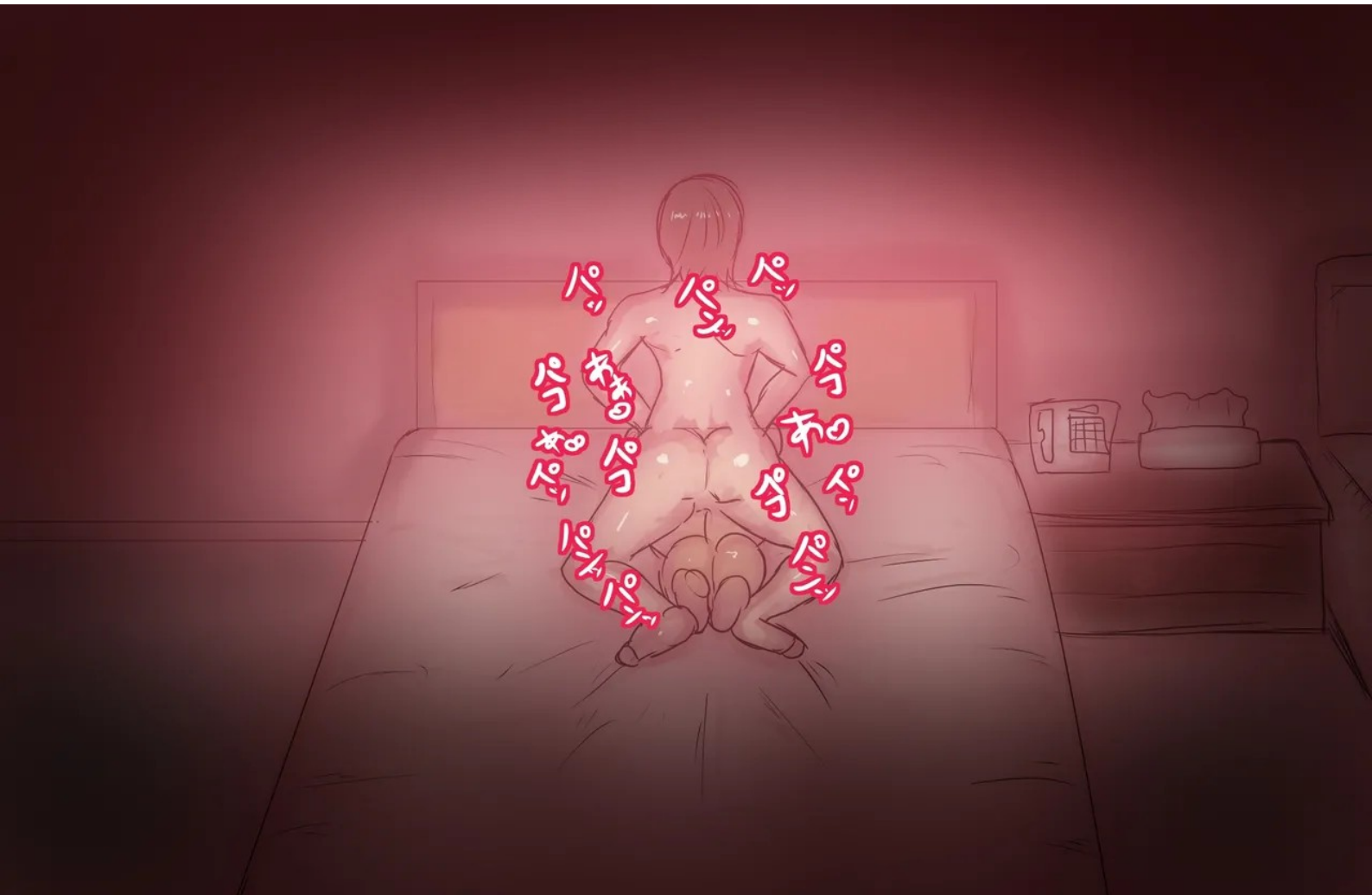


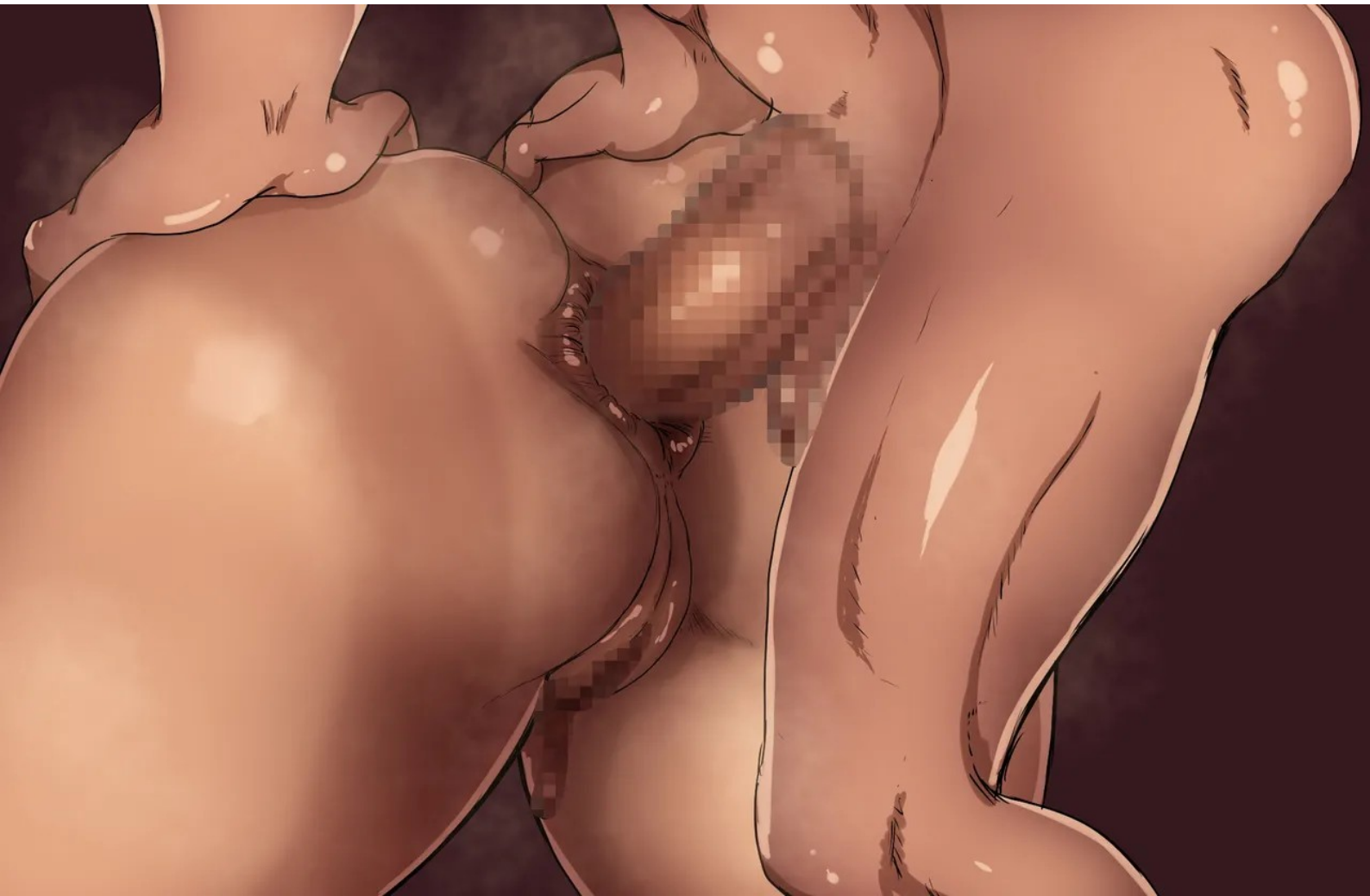


























あゝ

ぱん

ぱん

ぱん

ぱん















トア
フク
トフ





























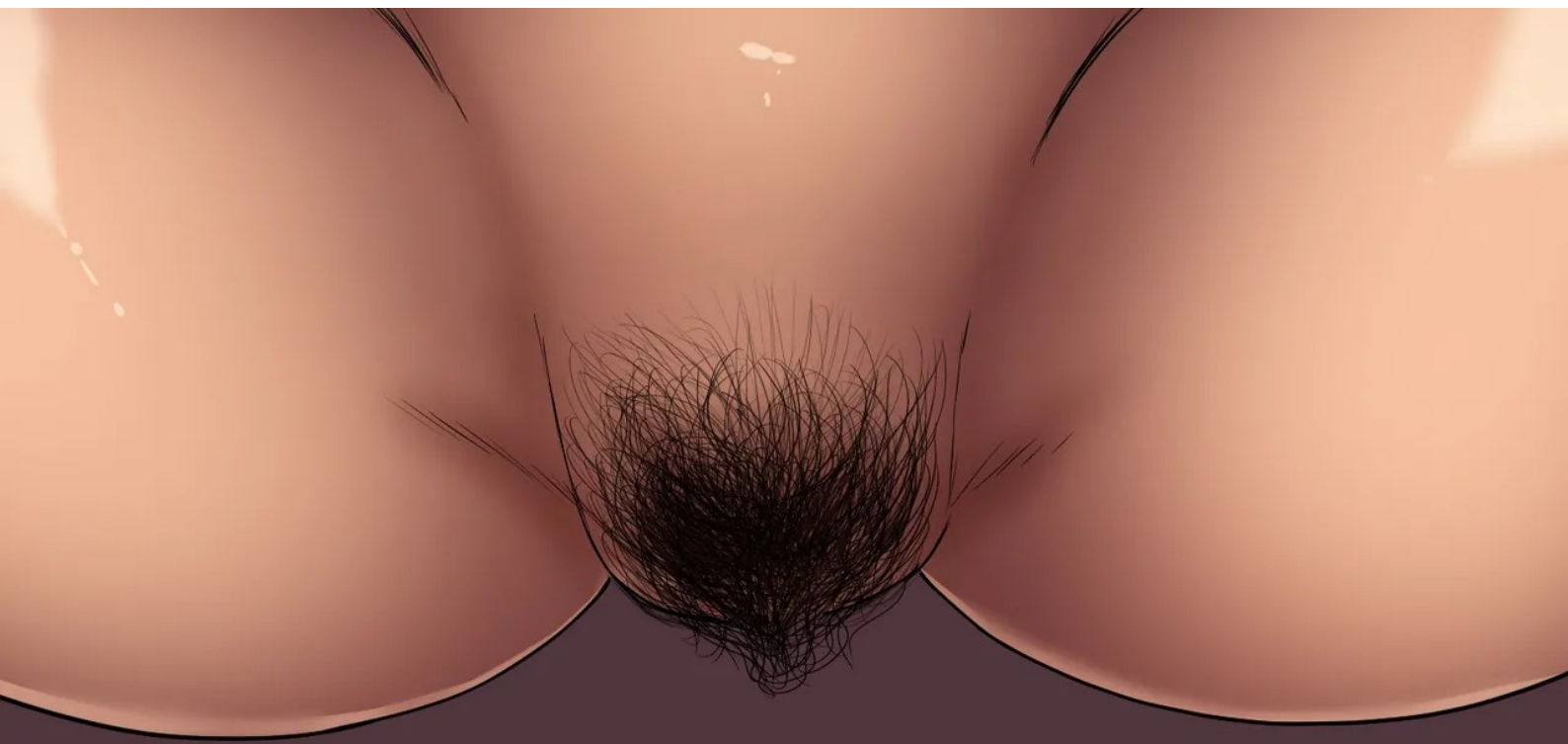




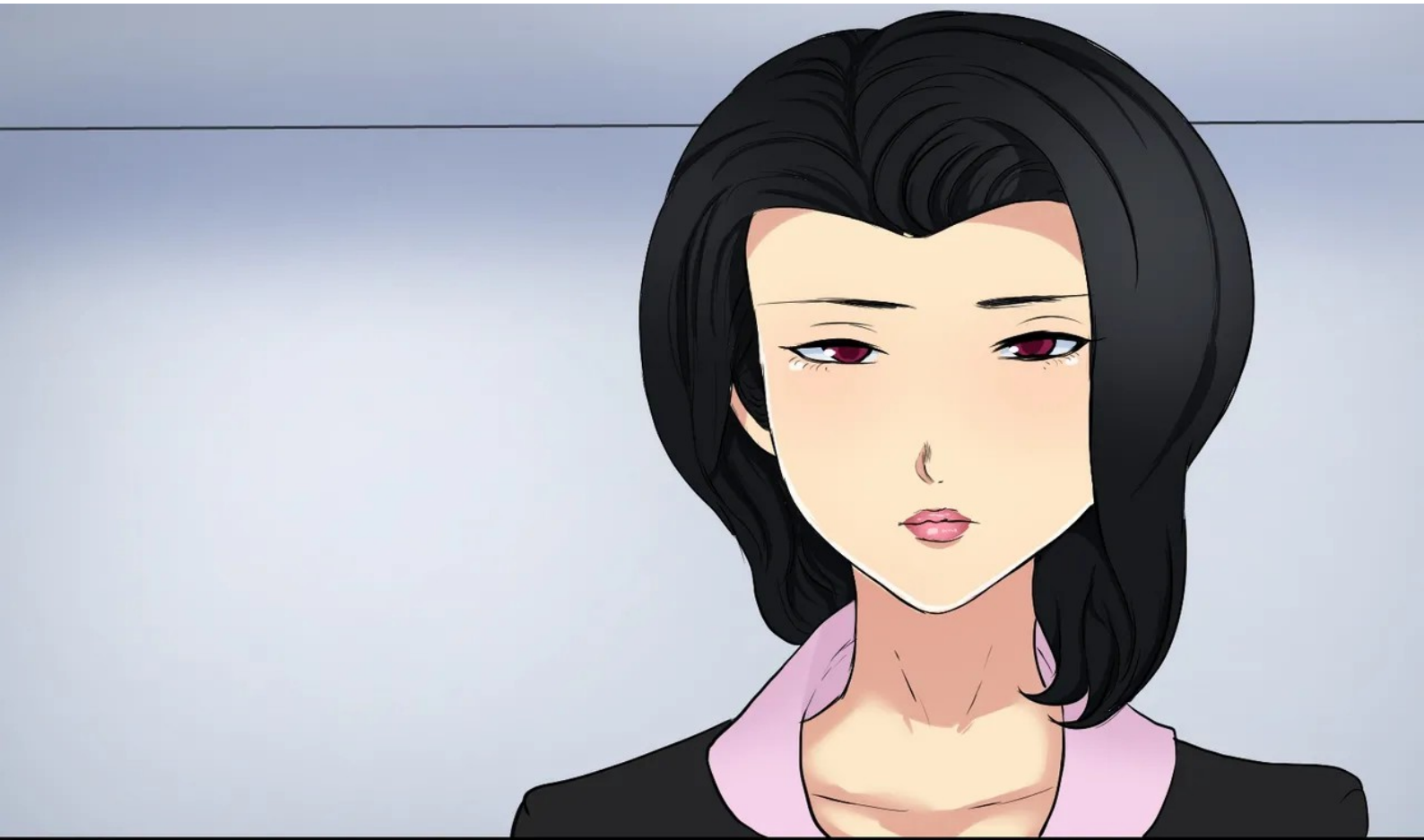












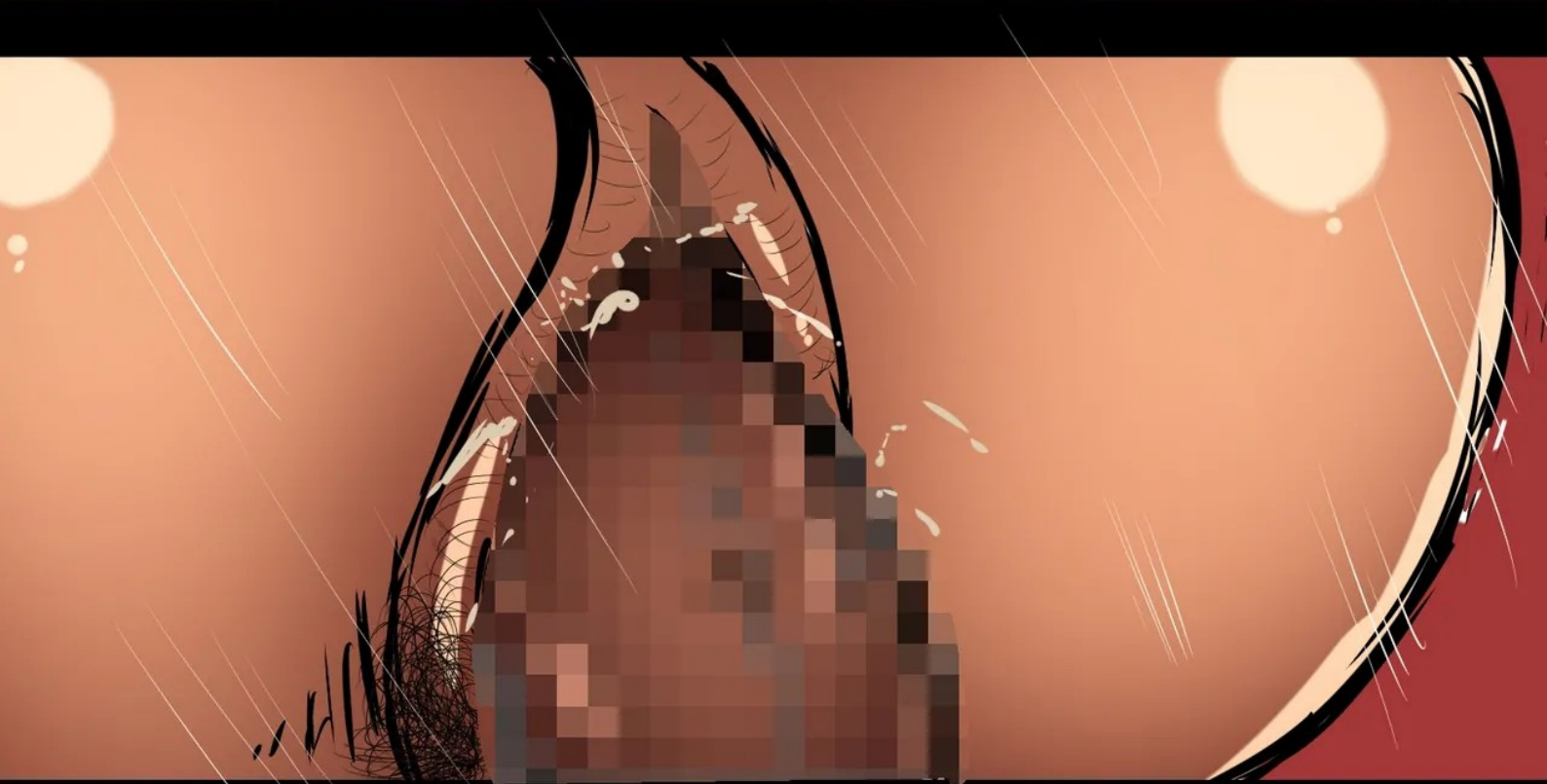
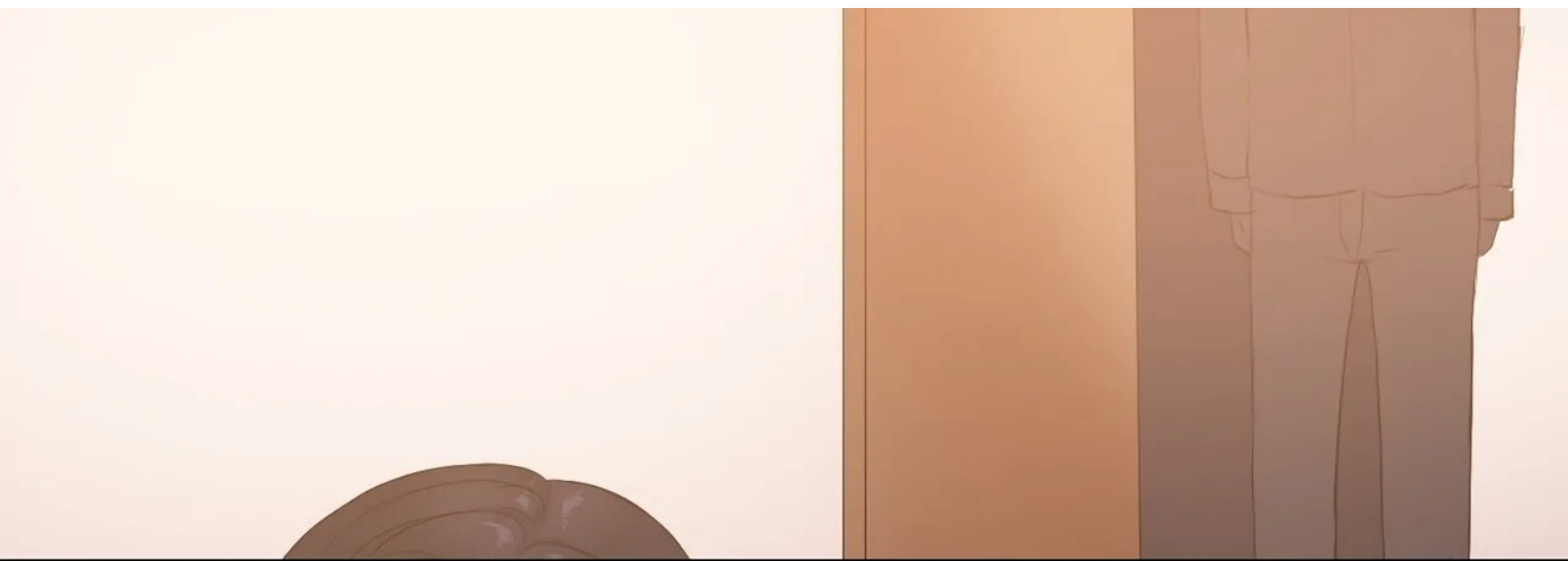
















~~~~~

下

下知

下

下

下  
下  
下

下

下